

シード校

●正式名称 / 大阪府立
八尾高等学校

●所在地 / 〒581-0073
八尾市高町1-74

- 学 校 長 / 藤井光正
- 部 長 / 大谷友哉
- 監 督 / 長田貴史
- 部 員 / 68人
- 学校創立 / 1895(明治28)年
- 野球部創部 / 1915(大正4)年

過去5年間の夏の大阪大会最終結果

- 16夏 = 1回戦 0 ⑦ 7 大商大高
- 17夏 = 2回戦 4 - 9 初芝立命館
- 18夏 = 準々決勝 3 ⑦ 10 上宮太子
- 19夏 = 2回戦 4 - 6 藤井寺
- 20夏 = 2回戦 0 - 9 美原

昨秋新チーム結成以降の府大会成績

- 20秋 = 2回戦 2 - 1 四條畷
- 3回戦 2 - 1 門真なみはや
- 4回戦 9 - 3 金光八尾
- 5回戦 5 - 3 阪南大高
- 準々決勝 1 ⑦ 8 東海大阪仰星
- 21春 = 2回戦 (不戦勝) 西野田工科
- 3回戦 10 - 8 香里丘
- 4回戦 10 ⑦ 3 大冠
- 5回戦 3 - 6 大商大高

↓写真左から広角に打てる鷹橋、主将の嶋崎、安打製造機の白崎、長打力が自慢の殿井。俊足の一番・嶋崎が出塁し、クリーンアップで得点する

八尾

八尾市 府立 やお

頼れる不動のエースを中心に 粘り強く、守り勝つ野球で上へ

▶バッテリー。長尾(左)は不動のエース。女房役の神園は野球IQが高い



毎年、国公立や難関大学への進学者が輩出する、府内きつての進学校。その一方で文武両道を掲げ、野球部も春夏合わせて10回の甲子園出場を果たしている。

今年のチームは3年生を中心に、攻守走を持ち合わせたメンバーが顔を並べるのが特徴だ。中心になるのは、先発完投型の投手である長尾。キレのあるスライターをはじめ、どの変化球でもストライクが取れ、最速138キロのストレートとのコンビネーションで打者を打ち取る。

エースが大崩れすることなく、ゲームをつくる。その間に打線は回を追うごとに相手投手にアジャストし、どんな場面でもあきらめずに食らいついて、得点を狙っていく。そうして先取点を奪い、安定感あるバッテリーを中心に守り勝つ。これが、今年の八尾が目指す野球。

そんな八尾が自分たちのスタイルを再認識したのは、新チーム結成早々に行った寝屋川との練習試合。相手に積極的な走塁でかき乱されて大敗

を喫したこの試合で、自分たちがやるべき野球にあらためて気付かされた。ここで得た教訓を糧に、秋季大会では準々決勝進出を果たす。春は5回戦で敗れたが、象徴的だったのは不戦勝後の初戦の香里丘戦。先制されながら中盤に追いつき、終盤に逆転を許すも、再逆転の末に勝利を手にした。粘り強く、しぶとく戦うことが、夏もカギになる。

昨夏の独自大会は2回戦敗退と思わぬ結果に終わったが、この夏の目標は秋季大会のベスト8を超えて、さらに先に進むこと。八尾を率いて8年目の長田監督は、目前に迫る夏に向けて、決意を新たにする。

「飛び抜けた選手はいませんが全員が、簡単に負けないチームだと思っています。目標はやっぱり、甲子園出場。高い壁だと分かっていますが、それを乗り越えたい。公立校の意地みたいなものもありますね」

大阪に八尾旋風が巻き起こるか、注目したい。(川崎政司)

TEAM DATA

Pos.	選手名	学年	出身	身長	体重	投打
[投]	長尾 彦秀	3	新北野	181	72	右右
[捕]	神園 大志	3	八尾東	175	60	右右
[一]	深渡 瀬隆平	2	田辺	187	80	右右
[二]	鷹橋 大和	3	田辺 翼	173	70	右右
[三]	白崎 俊介	3	巽	175	65	右右
[遊]	長谷川 壮	2	曙川南	176	67	右右
[左]	山口 貴太郎	3	若江	174	67	右右
[中]	殿井 来河	3	盾津	170	74	右右
[右]	嶋崎 前田	3	上之島	172	65	右右
[投]	前田 篤輝	3	堅下北	165	58	右右
[捕]	森下 優希	3	白鷺	165	56	右右
[内]	樋口 大空	2	上之島	172	67	右右
[内]	西俣 壮	3	松	184	100	右右
[外]	浅川 慶	2	曙川南	165	55	右右
[外]	山本 皓介	3	龍華	172	60	右右
[外]	倉田 大輝	3	亀井	171	62	右右
[外]	藤野 秀太	3	盾津	175	61	右右
[外]	服部 航太	3	板岡	176	76	右右
[外]	土庵 次郎	3	阪南	178	82	右右
[捕]	松本 拓真	2	玉	169	61	右右

*学年の丸数字は主将